

イチリンソウ

キンポウゲ科

落葉広葉樹林や山麓の土手に生える。
茎葉の間から1本の長い花柄をだし、先端に直径3〜4 cmほどの大輪の花を咲かせる。



ニリンソウ

キンポウゲ科

山麓の林内や竹林、土手などに生える。

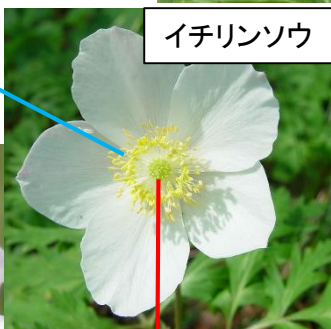
茎葉の間から普通2本の花柄をだし、先端に直径1.5〜2.5 cmの花を咲かせる。

ただし、花柄が1本、または3本の場合もある。

多数の雄しべと雌しべ、花びらのように見えるがく片からなる。

がく片はイチリンソウが5〜6枚、ニリンソウは通常5枚とされているが、個体による変異が多い(左図のニリンソウは8枚)。

イチリンソウ



雄しべ

雌しべ

ニリンソウ

